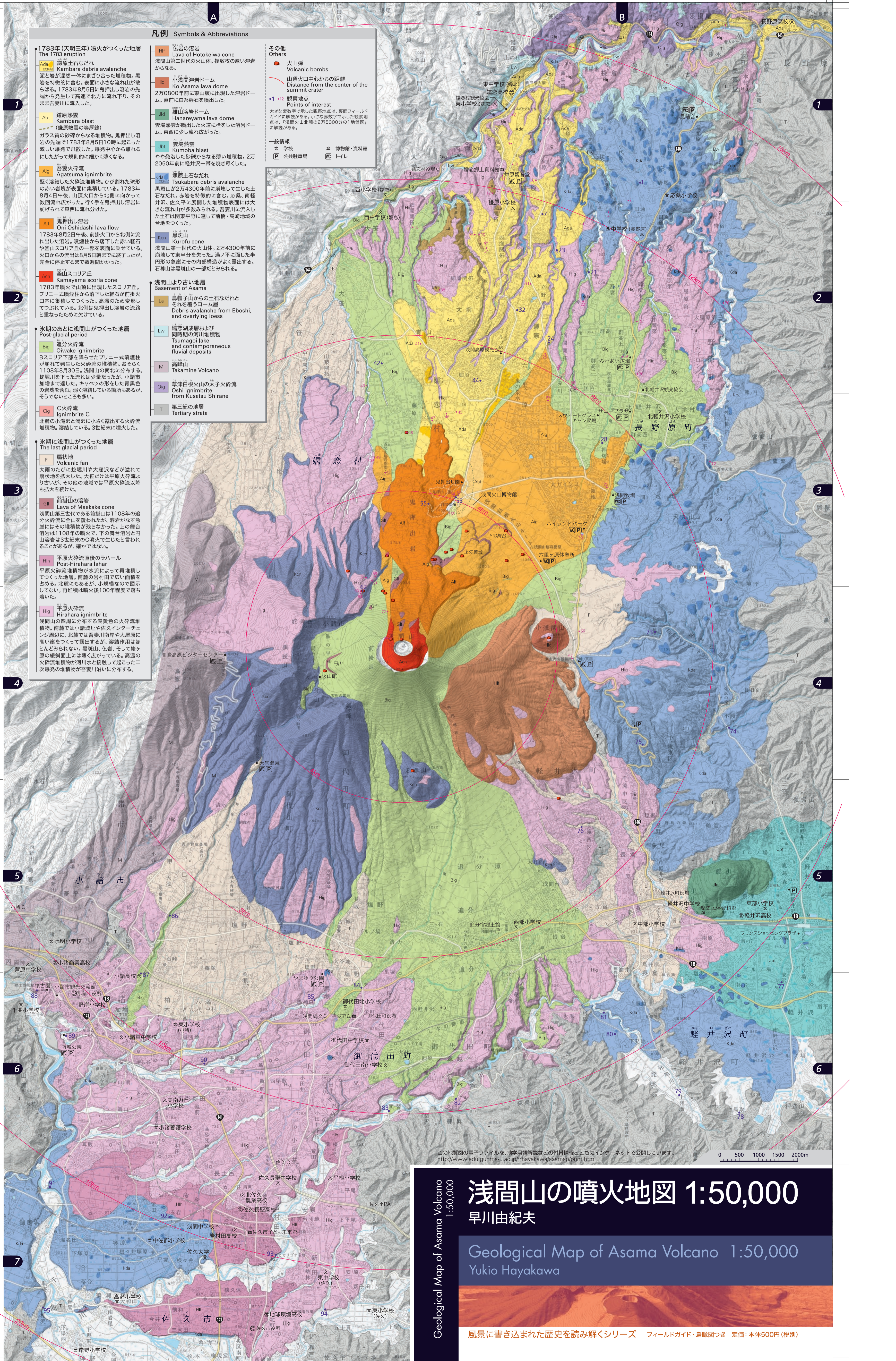


凡例 Symbols & Abbreviations

- 1783年(天明三年)噴火がつくった地層**  
The 1783 eruption
- Ada** 鏡原土石なだれ  
Kambara debris avalanche  
岩と岩が溶融一体にまじり合った堆積物。黒岩を特徴的に含む。表面に小さな流れ山が散らばる。1783年8月5日に鬼押出し溶岩の先端から発生して高速で北方に流れ下り、そのまま吾妻川に流入した。
- Abt** 鏡原熱雲  
Kambara blast  
(鏡原熱雲の厚層線)  
ガラス質の砂礫からなる堆積物。鬼押出し溶岩の先端で1783年8月5日10時に起こった激しい爆発で飛散した。爆発中心から離れるにしたがって規則的に細かく薄くなる。
- Aig** 吾妻火砕流  
Agatsuma ignimbrite  
堅く溶結した火砕流堆積物。ひび割れた球形の赤い岩塊が表面に露出している。1783年8月4日午後、山頂火口から北側に向かって数回流れ広がった。行く手を鬼押出し溶岩に妨げられて東西に流れ分けた。
- AIf** 鬼押出し溶岩  
Oni Oshidashi lava flow  
1783年8月2日午後、前掛火口から北側に流れ出した溶岩。噴煙柱から落下した赤い軽石や釜山スコリアの一部を表面に露出させている。火口からの流出は8月8日朝まで続いたが、完全に停止するまで数週間かかった。
- Acn** 釜山スコリア丘  
Kamayama scoria cone  
1783年噴火で山頂に出現したスコリア丘。プリニー式噴煙柱から落下した軽石が前掛火口に集積してつくった。高温のため変形してつぶれている。北側は鬼押出し溶岩の流路と重なったために欠けている。
- 氷期のおとに浅間山がつくった地層**  
Post-glacial period
- Big** 追分火砕流  
Oiwake ignimbrite  
Bスコリア下部を降させたプリニー式噴煙柱が崩れて発生した火砕流の堆積物。おそく1108年8月30日、浅間山の南北に分布する。蛇堀川を下った流れは少量だったが、小諸市増まで達した。キャベツの形をした青黒色の岩塊を含む。部分で溶結している箇所もあるが、そうでないところも多い。
- C** 火砕流  
Ignimbrite C  
北麓の小滝沢と濁沢に小さく露出する火砕流堆積物。溶結している。3世紀末に噴火した。
- 氷期に浅間山がつくった地層**  
The last glacial period
- F** 扇状地  
Volcanic fan  
大雨のために蛇堀川や大滝沢などが溢れて扇状地を拡大した。大世では平原火砕流より古い。その他の地域では平原火砕流以降も拡大を続けた。
- Gf** 前掛山の溶岩  
Lava of Maekake cone  
浅間山第三世代である前掛山は1108年の追分火砕流に全山を覆われたが、溶岩が急崖にはその堆積物が残らなかった。上の舞台溶岩は1108年の噴火で、下の舞台溶岩と円山溶岩は3世紀末のC噴火で生じたと言われることがあるが、確かではない。
- Hh** 平原火砕流直後のラハール  
Post-Hirahara lahar  
平原火砕流堆積物が水流によって再堆積してつくった地層。南麓の岩村で広い面積を占める。北麓にもあるが、小規模なので図示していない。再堆積は噴火後100年程度で落ち着いた。
- Hig** 平原火砕流  
Hirahara ignimbrite  
浅間山の四周に分布する淡黄色の火砕流堆積物。南麓では小規模城址や佐久インターチェンジ周辺に、北麓では吾妻川南岸や大原山に高い崖をつくって露出するが、溶結作用はほとんどみられない。黒斑山、仏岩、そして姥ヶ原の緩斜面には薄く広がっている。高温の火砕流堆積物が河川水と接触して起こった二次爆発の堆積物が吾妻川沿いに分布する。

- Hh** 仏岩の溶岩  
Lava of Hotokaiwa cone  
浅間山第三世代の火山体。複数枚の厚い溶岩からなる。
- Kd** 小浅間溶岩ドーム  
Ko Asama lava dome  
2万0800年前に東山麓に出現した溶岩ドーム。直前に白米軽石を噴出した。
- Jkd** 離山溶岩ドーム  
Hanareyama lava dome  
雲場熱雲が噴出した火道に柱をした溶岩ドーム。東西に少し流れ広がった。
- Jbt** 雲場熱雲  
Kumoba blast  
やや発泡した砂礫からなる薄い堆積物。2万2050年前に軽井沢一帯を焼き尽くした。
- Kda** 塚原土石なだれ  
Tsukabara debris avalanche  
黒斑山2万4300年前に崩壊して生じた土石なだれ。赤岩を特徴的に含む。広巻、南軽井沢、佐久平に展開した堆積物表面には大きな流れ山が多数みられる。吾妻川に流入した土石は関東平野に達して前橋・高崎地域の各地をつくった。
- Kcn** 黒斑山  
Kurofu cone  
浅間山第一世代の火山体。2万4300年前に崩壊して東半分を失った。漏斗平に面した半円形の急崖にその内部構造がよく露出する。石帯山は黒斑山の一部だとみられる。
- 浅間山より古い地層**  
Basement of Asama
- La** 烏帽子山からの土石なだれとそれを覆うローム層  
Debris avalanche from Eboshi, and overlying loess
- Lw** 徳志湖成層および同時期の河川堆積物  
Tsumagai lake and contemporaneous fluvial deposits
- M** 高峰山  
Takamine Volcano
- Oig** 吾妻白根火山の太子火砕流  
Oshi ignimbrite from Kusatsu Shirane
- T** 第三紀の地層  
Tertiary strata

- その他 Others**
- 火山弾  
Volcanic bombs  
山頂火口中心からの距離  
Distance from the center of the summit crater
- 1** **12** 観測地点  
Points of interest  
大きな数字で示した観測地点は、裏面フィールドガイドに解説がある。小さな数字で示した観測地点は、浅間火山北麓の2万5000分の1地質図に解説がある。
- 一般情報**
- 文** 学校
- 書** 博物館・資料館
- P** 公共駐車場
- WC** トイレ



この地質図の電子ファイルは、地学用語解説などの付帯情報とともにインターネットで公開しています。  
http://www.edu.gunma-u.ac.jp/~hayakawa/jasemap/print.html

0 500 1000 1500 2000m

**Geological Map of Asama Volcano 1:50,000**  
早川由紀夫  
Yukio Hayakawa

**浅間山の噴火地図 1:50,000**  
早川由紀夫  
Yukio Hayakawa

風景に書き込まれた歴史を読み解くシリーズ フィールドガイド・鳥瞰図つき 定価：本体500円(税別)